

持続可能な体験活動の先進例

1年生時からの計画的な積立による実施!

3泊4日 宿泊体験学習 ～伝説の4年生を目指して～

福山市立駅家西小学校 対象学年(4年)

【体験活動場所・宿泊場所】 岡山県吉備高原町・国立吉備青少年自然の家

【実施期間】平成26年7月22日(火)～25日(金)

【学校紹介】

○近況：本校では、地域の方々に理解・協力をいただきながらESDを柱とした教育研究を進めてきている。

自分たちが関わる人や自然・社会とのつながりに関心を持ち、豊かな感受性を育むため、地域・家庭・関係機関との連携を取りながら、環境教育をはじめとするさまざまな教育活動に取り組んできた。

○学校長：松岡 誠治

○児童数(学級数)：341名 14学級

○所在地：福山市駅家町近田205-1

○電話番号：084-976-2778



【体験活動のねらい】

- ①自然に関わる体験活動を通して、自然の大切さを実感し、自然を守ろうとする態度や畏敬の念を育てると共に、働くことへの意義についての理解を深める。
- ②他者と協働した集団宿泊活動を行うことにより、自主・自律心、思いやりや協調性、ルールやマナーを守ろうとする規範意識を高める。

【日程(活動プログラム)】

		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		
計画可能な時間帯		起床 洗面	清掃 つどい	レストラン食	点検 入所・退所式	レストラン食	入所・退所式	入所・退所式	入所・退所式	入所・退所式	入所・退所式	入所・退所式	入所・退所式	入所・退所式	入所・退所式	入所・退所式	入所・退所式	入所・退所式	入所・退所式	
					直接(導入)指導が必要な活動 入所手続き・退所手続き(12:00～13:00は入所手続きのみ)								代読者打合せ 16:30～							
1	7月22日(火)	起床・洗面 場所 荒天	朝のつどい 清掃	朝食 レストラン	出発式 移動(バス)	昼食「弁当持参」 ラウンジ	昼食 レストラン	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	
2	7月23日(水)	起床・洗面 場所 荒天	朝のつどい 清掃	朝食 レストラン	カンター4艇×1回 晴滝湖	昼食 レストラン	昼食 レストラン	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH
3	7月24日(木)	起床・洗面 場所 荒天	朝のつどい 清掃	朝食 レストラン	水辺の教室 ツリーイング ピオトープ周辺 森 クライミングウォール ツリーイング PH	昼食 レストラン	昼食 レストラン	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH
4	7月25日(金)	起床・洗面 場所 荒天	朝のつどい 清掃	朝食 レストラン	清掃 宿泊棟	点検 宿泊棟	お札の手紙 森のクラフト チャレンジルーム	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH	宿物整理 移動用 入所式(挨拶) 退所PH

【参加児童の学年別，男女別数】

学年	男子	女子	合計
4学年	30	33	63
(特別支援学級)	2		2
総計	32	33	65

【宿泊体験活動を実施する上でのポイント】

- 1年生時から経費の積立を毎月行うことで，一度に大きな保護者負担をかけない配慮をしている。また，3年生（1泊2日）や5年生（2泊3日）の活動も継続して実施することができている。
- 保護者に事前・事後の説明を行うことで，活動の意義を理解してもらい協力を得ることができている。
- 夏季休業中に実施することで，教職員の協力を得やすくしている。引率した職員も自ら活動を楽しみ，児童の成長を実感している。
- 施設と連携し，ねらいに沿った活動を意図的に仕組むことで，児童自身に大きな達成感と充実感を持たせることができている。また，スローガンや具体目標を設定させ，活動の度に振り返りをさせるなど，個や集団の高まりを自覚しやすい工夫をしている。

【指導計画】

実施時期	活動内容	実施時間数	教育課程上の位置付け	実施場所	指導者
7月・8月	体験から学ぼう 「人・自然・協力」	10時間	総合的な学習の時間	教室	学級担任
7月	体験活動に向けて	1時間	特別活動	教室	学級担任
7月22日～25日	課題解決ゲーム，カッター，創作活動 ウォークラリー，水辺活動，ツリーイング	24時間	学校行事，理科，図工 学活，国語	国立吉備青少年自然の家	学級担任，職員 施設職員，外部講師
8月	体験活動の振り返り	1時間	特別活動	教室	学級担任
9月	とべないホテル	1時間	道徳	教室	学級担任
	「ありがとう」の言葉	1時間	道徳	教室	学級担任

【体験活動の概要】

○課題解決ゲーム

〈内容〉

- ①学習のルール作り
- ②アイスブレイク（じゃんけんゲーム・パイプラインなど）
- ③ピーイング（振り返り）作成

〈留意点〉

- ・少しずつ「ちょっと頑張れば達成できそう」な目標を設定する。
- ・活動中の様々なトラブルに応じて振り返りをする。
- ・トラブルが起きても児童同士で解決させるようにする。



②カッター訓練



〈内容〉

班ごとに操艇する。

〈留意点〉

- ・担任は艇長になり，児童に操艇のための指示を出す。
- ・児童を励まし，力を出し切っている児童をしっかりと認める。
- ・活動中のことについて振り返りをさせる。

③スコアオリエンテーリング



〈内容〉

班ごとに作戦を立て，ポイントを探したり課題に挑んだりする。

〈留意点〉

- ・山に入るので，長袖・長ズボン・場合により長靴
- ・全員でポイントを見つけて，全員揃ってゴールする。
- ・30分に1回はみんなで丸くなって座ってお茶を飲む。

④水辺の教室



〈内容〉

加茂川とその周辺の水生昆虫や生き物の採集と観察

〈留意点〉

- ・滑りやすいので，走らないなどの安全面の注意。
- ・けが防止のための靴，ぬれてもいいように水着の着用。
- ・採集した生き物の取り扱いの注意点確認。

(できるだけ体を触らないなど)

- ・安全のため，2人以上で行動をする。
- ・観察などが終わったら，生き物は逃がす。

⑤ツリーイング



〈内容〉

未知へのものに挑戦するために，一人で木に登る。

〈留意点〉

- ・活動前に注意点をしっかりと確認し，テストを行う。そのテストに合格できなければ，活動が開始できないようにした。
- ・注意点など責任を持って聞かせるため，友だちや担任の先生に聞いてはならないと事前に指導した。

※全ての活動に関して，活動前に目標を設定し，必ず振り返りをさせるようにした。

【体験活動の効果を高めるための取組のポイント（事前・事後学習）】

事前

- 実行委員を発足し、児童中心で結団式などを行った。
- 体験活動を終えて、どんな自分になっていきたいかを考えさせ、教室に掲示した。そして、一日の終わりに、今日の行動はなりたい自分に近づけているか振り返りをさせることに活用した。
- 学年会や結団式を開き、スローガンを設定するなどし、共通の認識が持てるようにした。

事後

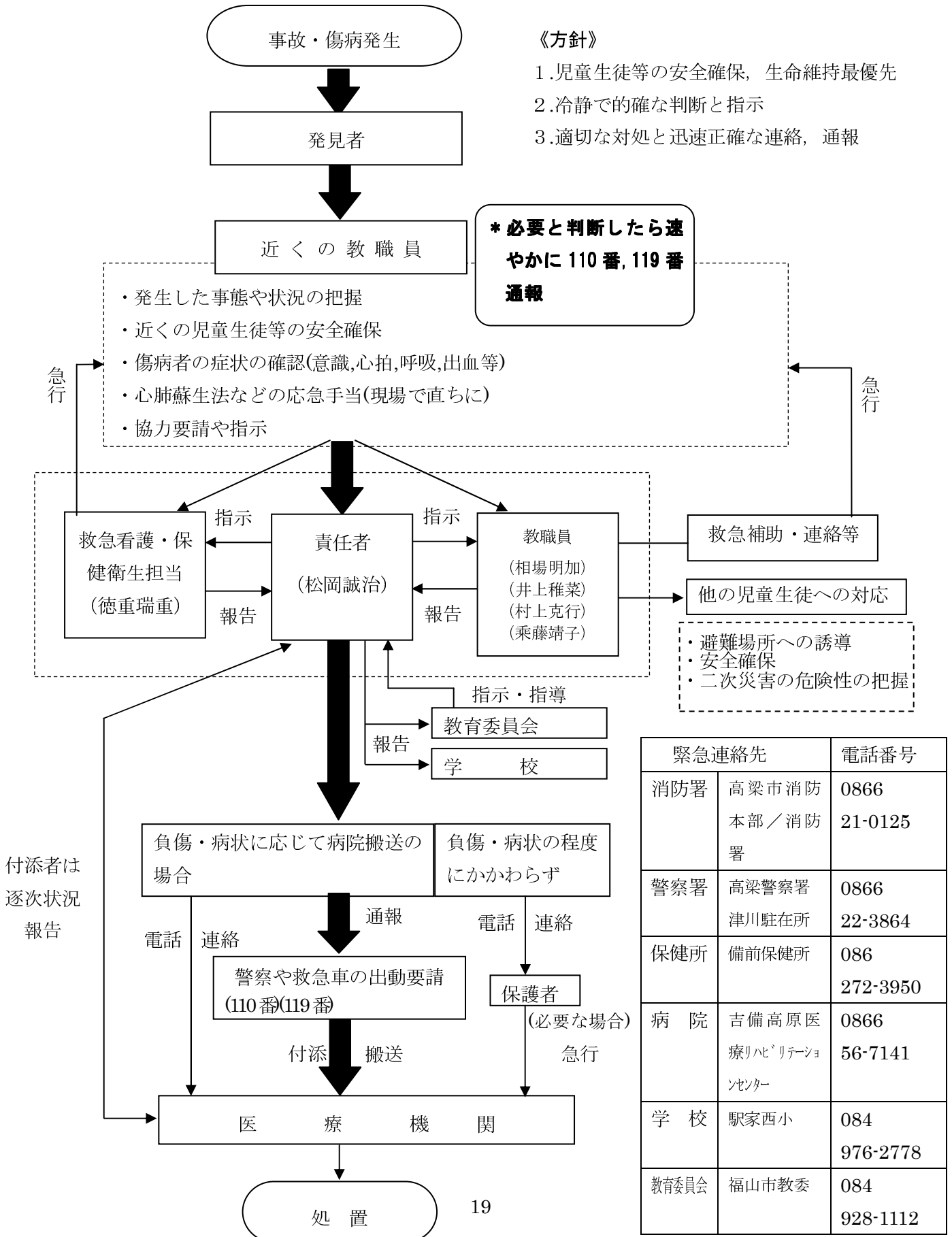
- 夏休みの宿題として、体験活動を通して考えたことについての作文を書かせた。その際に、単なる感想文にならないよう、体験活動のスローガンであった「協力しよう！伝説の4年生。」に基づいて、どんな行動や言葉が「伝説」につながったのか、協力できたことはどんなことか、またその時にどのように感じたかなど、書く視点を与え、体験活動から学んだことを具体的に書くよう指導した。
- 学習発表会で体験活動を通して学んだことについて発表をした。その際に、台詞を児童に考えさせ、自分の言葉で学びを表現するよう工夫した。
- 道徳「とべないホタル」「ありがとうの言葉」で、宿泊体験学習で学んだことと関連付け、宿泊体験学習のどんな場面で、友情の深まりを感じたか、その時どんな気持ちになったかと振り返りをさせたり、あいさつについて宿泊体験学習と前と後でどう変わったか、またそれはなぜかなどを考えさせたりした。
- アンケートを実施し、定期的に宿泊体験学習で学んだことを振り返らせた。
- 感謝の気持ちを伝えるために、お礼の手紙を書かせた。

【交流先や施設等との連携及び安全面の配慮事項】

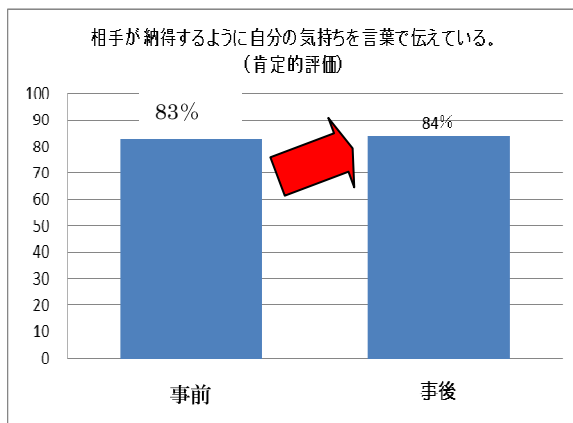
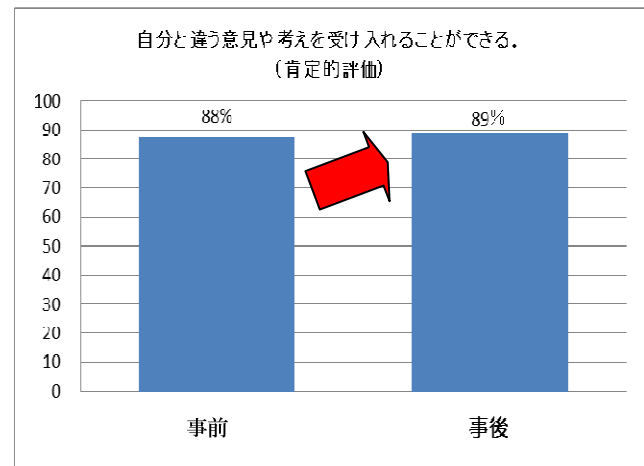
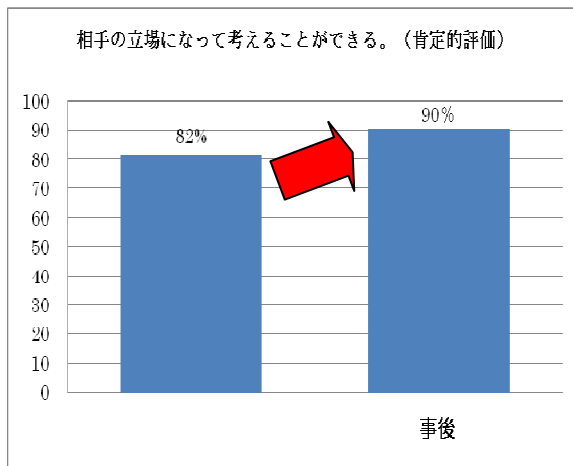
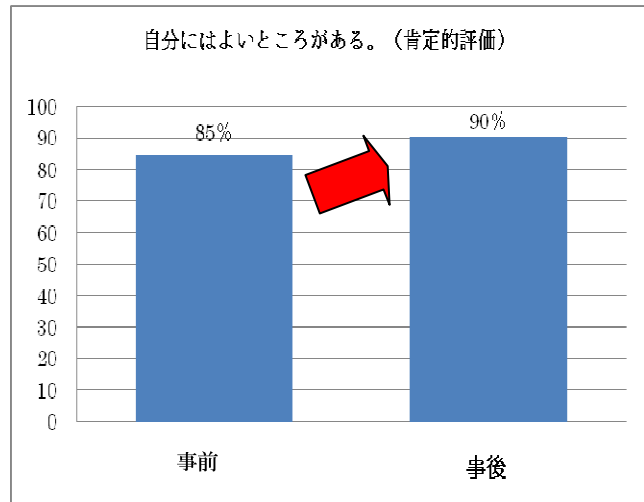
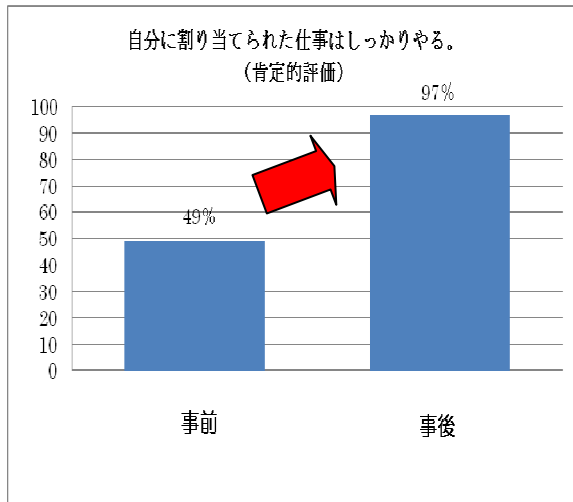
- 事前に利用団体合同事前打ち合わせ会に参加し、施設内を見学したり、プログラムの打ち合わせをしたりした。
- 打ち合わせ会以外にも一度、事前に訪問し、施設内の写真を撮影したり、移動方法などを確認したりした。
- 不明な点がある時には、その都度メールや電話で連携を図った。
- 配慮が必要な児童に関しては、事前に文書にまとめ、メール等で送付した。
- 熱中症にならないよう、水分補給をこまめに行った。（朝は水筒にお茶を入れ、午後は一人一本スポーツドリンクを持たせた。）
- オリエンテーグでの安全を確保するために、長袖・長ズボンを着用させた。
- 健康調査の結果をまとめ、引率教員で結果を共有した。

4年宿泊体験学習における救急及び緊急連絡体制

福山市立駅家西小学校



【体験活動の成果と課題】



結果：児童アンケートに関して、すべての項目で「とてもよくあてはまる」と回答した児童が増えている。保護者アンケートでも、「周りの言葉を素直に聞き、気配りができるようになった。」「自分と違う意見を全く聞くことができなかつたが、話を聞くようになった。」等の肯定的な評価が多く見られた。

要因：児童一人一人に班での役割を与えることが、責任を持って仕事に取り組む姿勢につながったのではないかと考える。また、活動の振り返りを行う際に、誰のどのような声かけがよかつたか、協力につながつたかをピーニングに書かせ、発表をさせたことが、自分にはよいところがあると感じることににつながつたのではないだろうか。また、活動中に起きた問題に関して、必ずその都度、振り返りをさせたことで、相手の立場に立って考え、自分と違う意見を受け入れる姿勢の育成につながつたと考える。宿泊体験学習で、児童は仲間を受け入れたり、協力したりし、大きく成長をすることができた。

成果：

- ・自然に関わる体験活動（水辺の教室・天体観測・ツリーイング）で、自然に触れることを通して自然の大切さを体感することができた。
- ・他者と協働する体験活動（課題解決ゲーム・カッター活動など）で、協力の意味を体感し、集団意識が高まっている。
- ・思いやりや協調性の大切さを考える場を設け、実践に移すことができています。
- ・学んだことを2学期からの行事に生かすことができた。（学習発表会など）

改善点：

- ・吉備の天候は変わりやすく、夕立がよく降っていた。雨や雷の時の対応をしっかりと準備しておく必要がある。
- ・ふとんのたたみ方や片づけ方など、事前に家庭で十分練習させるなどし、徹底させる必要がある。
- ・他校や施設から情報収集を行い、より仲間との協力ができたり、自然の素晴らしさに触れたりできるよう、活動プログラムを工夫する。